



各 位

2024年5月27日

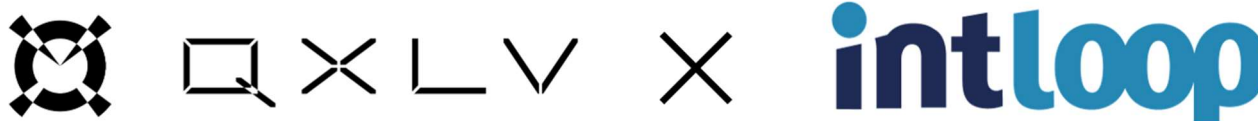
会社名 INTLOOP株式会社
代表者名 代表取締役 林 博文
(コード番号: 9556 東証グロース)
問合せ先 取締役管理本部長 内野 権
E-Mail ir@intloop.com

イントループ、QXLV が運営する 2 号ファンド参画に関するお知らせ

イントループ | QXLV が運営する 2 号ファンドに参画し、更なるスタートアップ企業支援を強化

出資をきっかけとした企業ネットワークの構築により、より多くの企業のバリューアップを目指す

コンサルティング事業、フリーランスのエンジニアやコンサルタント向けプロジェクト案件紹介事業などを行う INTLOOP 株式会社（よみ：イントループ 本社：東京都港区 代表取締役：林 博文、証券コード：9556、以下当社）は、独立系ベンチャーキャピタルであるクオンタムリープベンチャーズ株式会社（以下 QXLV 社）が運営する 2 号ファンドに 1 億円の出資を実施してスタートアップ企業支援を強化します。また、QXLV 社と繋がりのある大手企業に対して新規事業開発支援及び DX 支援を実施していきます。



■ QXLV 社運営ファンドについて

・QXLV 社運営ファンドの注力テーマ

QXLV 社のファンドが注力する投資テーマとして、「ディープテック・次世代技術」と「GX/SX/Climate Tech」があります。

一つ目の投資テーマとしてディープテック・次世代技術領域では、製品開発及び市場投入の各段階を支える資金が不足しています。さらに、研究者当人の事業に対する意識の欠落や、経営人材・伴走者の不足により、先端技術やアイデアが事業に繋がりにくくなっています。このような中で QXLV 社は、一般的な VC モニタリングではなく、経営者と同じ目線での戦略策定や事業開発支援をしたり、スタジオパートナー * との連携による独自のバリューアップ体制によってディープテック・次世代技術領域を積極的に支援しています。

また、「2050年カーボンニュートラル」に寄与するスタートアップへの支援にも積極的に取り組んでいます。近年世界的に、気候変動の主要因である温室効果ガスの排出量削減に取り組む流れが生まれています。この流れを経済成長の機会と捉え、温室効果ガスの排出量削減と、産業競争力の向上を両立することを目指す取り組みです。

* スタジオパートナー：技術開発支援を実施する非常勤エンジニア

・QXLV 社運営ファンドの独自アプローチ

上記 2 つの注力テーマに加え、QXLV 社独自のアプローチとして、「大企業スピンアウト」と「海外展開」が挙げられています。

経済産業省が推進する「出向起業」の認定アクセラレーターとして、創設以来 4 期連続で採択・受託を続けています。大手企業アセットを活用したスピンアウト案件及び、大手企業出身の起業家・起業準備者を、多数支援してきました。

また、欧米・アジア・アフリカといった海外市場に対し日本の技術や仕組みを輸出するテック企業の支援も多数行ってきました。QXLV 社に起因する国内外のイノベーションネットワークを活用し、海外市場に早期から挑戦する起業家を積極的に支援しています。

・QXLV 社 2 号ファンドについて

今回当社が投資を実施する 2 号ファンドは、「『飛躍の 30 年』を共に創る」をミッションとして 2023 年に 3 GP（ジェネラルパートナー）体制で設立され、最終的には総額 50 億円規模を予定しているファンドです。

2020 年に設立された 1 号ファンドが、創業／プレシード期の企業のみを投資対象としていたのに対し、2 号ファンドは創業／プレシード期に加えシード期・ポストシード期の企業も対象としています。

■ QXLV 社への出資目的

① QXLV 社のネットワークを活用した支援先企業の開拓

先述の通り、経済産業省が推進する「出向起業」の認定アクセラレーターである QXLV 社は、大手企業との独自ネットワークを保有しています。このネットワークを活用し、当社所属のコンサルタントやエンジニアといったプロフェッショナル人材による新規事業支援・DX 支援を、より多くの大手企業に対して提供していきます。

② 共同ソリューションの開発

QXLV 社は、運営ファンドへ出資している企業向けの新規事業支援プログラムとして「スタジオプログラム」を運営しています。「スタジオプログラム」は、プランニングから検証のフェーズを対象とし、ビジネスプランの構築や PoC（実証実験）をクイックに進めることを特徴としています。

このプログラムにコンサルティングファームである当社が関わることで、検証フェーズ以降の事業化・スケール化フェーズまで継続的に支援可能となり、さらにはプランニング・検証フェーズの精度向上に対する貢献も目指していきます。

■ 当社からスタートアップ企業への出資に関して

当社は今後も、直接投資／ファンドやプラットフォームを通じた間接投資といった形式を問わず、スタートアップ企業への出資を拡大していくとともに、コンサルティングファームとして新規事業支援・DX 支援にも取り組んでいきます。スタートアップ企業に限らず、今回 QXLV 社が保有する大手企業ネットワークを活用する形と同様に、出資をきっかけとした新たなネットワークを構築していくことで、より多くの企業に対するバリューアップを目指していきます。

弊社出資先一覧

出資先	出資目的
ISHIN GLOBAL FUND投資事業有限責任組合	東南アジア・インドの成長企業への支援
World Matcha Inc.	WORLD MATCHA社への成長支援
株式会社AoyamaLab	AoyamaLab社への成長支援
株式会社モンスターラボ	日本・海外企業向けのDX支援拡大を目指した資本業務提携
株式会社FUNDINNO	スタートアップへの人材支援を目指した資本業務提携
アマフィアブル株式会社	システムテスト市場に参入を目指した資本業務提携
エンジェルラウンド1号投資事業有限責任組合	デジタル×U30sの領域を主としたスタートアップ企業支援
SDF 1号投資事業有限責任組合	多様な資金調達手法を希望するスタートアップ企業支援
QXLV2号投資事業有限責任組合	シード期を主としたスタートアップ企業支援

■クオンタムリープベンチャーズ株式会社について

クオンタムリープベンチャーズ株式会社は、出井伸之氏（元ソニーグループ会長兼 CEO）が創業したクオンタムリープ株式会社から、古谷健太郎氏が独立しスピノフする形で 2019 年 3 月に設立された、独立系ベンチャーキャピタルです。「『飛躍の 30 年』を共に創る」をミッションに掲げ、シード特化の投資ファンドを運用しています。

会社名：クオンタムリープベンチャーズ株式会社

英語名：Quantum Leaps Ventures Corp.

代表者名：古谷 健太郎

住所：東京都港区六本木 1-4-5 アークヒルズサウスタワー 16 階

設立：2019 年 3 月 6 日

事業：独立系ベンチャーキャピタル

URL：<https://qxlv.jp/>

■INTLOOP（イントループ）株式会社について

INTLOOP 株式会社は企業の経営課題解決をミッションとし、社員として所属する国内系・外資系ファーム出身の経験豊富なコンサルタントが担うコンサルティングサービス、約 38,000 名（2024 年 1 月末時点）の登録を誇るコンサルタント、IT エンジニアなどのプロフェッショナル人材を支援する人材ソリューションサービスを主軸に展開しています。そのほか、プロフェッショナル人材ソリューションサービスで培ったマーケティングノウハウを提供するデジタルトランスフォーメーションサービス、先端技術を中心とした開発支援を行うテクノロジーソリューションサービスを展開。国内企業のみならずグローバル企業からベンチャーまで取引社数累計 1,000 社（2023 年 10 月末時点）を超える支援実績があります。

会社名：INTLOOP 株式会社(イントループ株式会社)

代表者：代表取締役 林 博文

所在地：東京都港区赤坂 2-9-11 オリックス赤坂 2 丁目ビル 6F

設立：2005 年 2 月 25 日

事業：コンサルティング、プロフェッショナル人材支援、テクノロジーソリューション、デジタルトランスフォーメーション、人材紹介

URL：<https://www.intloop.com/>

Web サービス :

フリーランスエンジニア案件紹介サービス「TECH STOCK」

<https://tech-stock.com/>

フリーランスコンサルタント案件紹介サービス「ハイパフォーマー」

<https://www.high-performer.jp/>

BtoB 向け課題解決プラットフォーム「QEEE」

<https://qeee.jp/>

フリーランスマーケティング案件紹介サイト「バチグマ」

<https://batchgooma.com/>

本プレスリリースに関するお問い合わせ

INTLOOP 株式会社 広報事務局 担当 : 廣瀬

電話 : 03-5544-8040 FAX : 03-5544-8041 メール : hirose@intloop.com